

北陸産業活性化フォーラム

参加無料

日 時

2026年2月20日(金) 14:00~15:45

場 所

オンライン [Microsoft Teams]

◆ 統一テーマ ◆

『2050年カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの社会実装戦略
～ペロブスカイト太陽電池の技術革新と地域共生による主力電源化への挑戦～』

基 調 講 演

14:05~15:10

【演 題】

『ペロブスカイト太陽電池の
実用化に向けた戦略と研究開発』

【講 師】

国研 産業技術総合研究所
再生可能エネルギー研究センター
ペロブスカイト太陽電池研究チーム長
村上 拓郎 氏



【講演趣旨】

ペロブスカイト太陽電池は軽量フレキシブルなどの特長があり本格的な実用化が期待されている。他方、発電コストが系統電力より安価になることが重要であり、そのために耐久性や大面積化、製造コストといった複数の技術的課題の解決が重要である。関連分野における事業参入の可能性も依然として大きく、多くの産業界からの関心が高まっている。ペロブスカイト太陽電池の実用化に必要な技術は高耐久化技術、量産化技術、評価技術である。耐久性の課題は材料特性に起因するものであり、屋外設置した際に加わる環境要因すなわち湿度、温度、光、酸素による劣化から太陽電池を守り、製品寿命を延ばすための技術課題である。量産化に向けたペロブスカイトの成膜技術も低コスト化に向けて重要であり、また高い変換効率を得るためにも極めて重要である。本講演では、ペロブスカイト太陽電池の歩み、実用化に向けた課題、そして産総研の取組みについて紹介する。

【講師紹介】

1977年神奈川県生まれ。2000年桐蔭横浜大学工学部卒業、2005年同大博士課程修了。スイス連邦工科大学ローザンヌ校博士研究員、桐蔭横浜大専任講師を経て、2011年産総研研究員、2021年から現職。SCIENTIFIC AMERICAN が選んだ2005年のベスト50や電気化学会の Honda-Fujishima Prizeなどを受賞。

講 演

15:10~15:45

【演 題】

『地域と共生した再生可能エネルギーの
普及拡大に向けた取組』

【講 師】

経済産業省 中部経済産業局
資源エネルギー環境部
エネルギー対策課 課長
小林 弘和 氏



【講演趣旨】

エネルギーは国民生活や経済活動の基盤であり、我々の生活に欠かすことができないものとなっています。第7次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーを主力電源化し、最大限の導入を促すことで、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいます。一方で、再生可能エネルギーには、傾斜地への設置など安全面での懸念の増大や、住民説明不足等による地域トラブルの発生、新たな再エネ適地の必要性など、さまざまな課題も存在します。こうした課題に対応するためには、地域との共生に向けた事業規律の強化が重要です。また、次世代太陽電池として注目されるペロブスカイト太陽電池の設置拡大も、再生可能エネルギー普及の鍵となります。今回の講演では、最近の事業規律強化の取組状況をはじめとした国の政策の説明に加え、中部地域におけるペロブスカイト太陽電池の普及・拡大に向けた動きについても紹介します。

【講師紹介】

1993年中部通商産業局（現中部経済産業局）に入局。スタートアップ、地域企業連携支援やDX推進、中部DX推進コミュニティを活用した企業支援に従事。近年では、環境・資源循環経済課長として、3R推進やサーキュラーエコノミーの移行を検討。2025年4月からエネルギー対策課長に着任。

参加申込み・お問合せ

参加ご希望の方は、2026年2月17日(火)までに、右記QRコードまたは下記アドレスからお申し込みください。<https://forms.cloud.microsoft/r/PtFfh0CjhC>



主 催・事務局：一般財団法人 北陸産業活性化センター [Mail : sanka@hiac.or.jp TEL: 076-264-3001]
共 催：北陸経済連合会、ほくりく先端複合材研究会、N P O 法人北陸ライフクラスター研究会
協 力：経済産業省 中部経済産業局